# 金城学院大学　シラバス

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開講年度(Year) | 2021年度 | 開講科目コード(Course code) | 14310001 |
| 授業科目名(Course name) | Cross-Cultural Communication | | |
| 担当者(Instructors) | 桑原 牧子 | | |
| 開設学部学科(Department) | 文学部　外国語コミュニケーション学科 | 科目分類番号(Course classification number) | 252 |
| 開講クラス(Class) | （文）２ | 開講形態（Course format) | 講義 |
| 科目区分(Course classification) | 専門教育科目 専門教育科目 | 単位数(Credits) | 2 |
| 開講期・曜日・時限(Semester / Day of the week / Period) | 前期 火曜１限 | 担当形態（Instructor format) | 単独 |
| 実験実習費（円）(Experiment/training fee (yen)) | | 履修者数上限（名）(Maximum number of students) | 120 |

## ■授業の概要(Course outline)

現在、私たちは、海外だけではなく国内においても、異文化に接する機会を多く持つ。異文化を理解することは、自らの文化を理解することでもあり、さらに、異文化と関わりを持つことは、自らの文化を変容させたり、新たな文化を生じさせたりすることにもつながる。本講座では、異文化間の接触・交流に関する様々な事例を紹介しながら、そこで生じるダイナミックな文化変容についての理解を深める。

## ■到達目標(Course goals)

文化接触によって生じる融合、衝突、変化を理解することができる。

## ■履修上の留意点(Important points)

なし

## ■学位授与方針（Diploma policy)

２．汎用的技能

世界の言語や文化の諸問題についての情報を適正に収集し、さまざまな研究理論を用いて分析し考察することができる。　○

日本語をはじめ外国語や種々の表現方法を修得し、多様な人々とコミュニケーションをとることができる。　○

３．態度・志向性

自らを律し、他者と協働して目標の実現のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。　◎

## ■授業計画(Lesson plan)

1. イントロダクション
2. 価値観と物事の捉え方①文化による価値観の相違について
3. 価値観と物事の捉え方②他者認識について
4. ステレオタイプ①ステレオタイプとエスニシティ
5. ステレオタイプ②ステレオタイプの回避
6. 時間と文化
7. 空間と文化
8. 前半まとめと中間テスト
9. 言語と文化
10. コミュニケーション

11. 言語コミュニケーション
12. 非言語コミュニケーション
13. コンテクスト
14. 異文化接触と多文化共生
15. 期末テストとまとめ

**■授業時間外学修（予習・復習）の内容・時間(Preparation/review details and time)**

レジュメの内容を復習する。

**■課題／課題に対するフィードバックの方法(Assignments/feedback)**

毎回、授業内容に関する質問に解答し、感想も書いて提出する。フィードバックはmanabaの掲示板にする。

**■テキスト・参考書(Textbooks/references)**

毎回プリントを配布する 。

**■評価方法(Evaluation method)**

期末テスト　30%

中間テスト　30%

毎回の質問・感想用紙　26%

期末復習ドリル　7%

中間復習ドリル　7%

**■授業時間外の学生からの質問への対応(Responding to questions from students outside class hours)**

教員メールアドレスで質問を受け付ける。